

高梁民泊協力会(北海道チーム)



歓迎式では備中神楽を披露



選手に歓迎の花束

北海道チームは20時間かけてフェリーで舞鶴に着き、23日午前1時に到着。深夜にもかかわらず協力会では十数人で出迎えました。
チームは残念ながら1回戦で敗退。送別会ではともに山踊りを踊り、「今日の日はさようなら」を歌う場面では涙ぐむ選手も見られました。また、選手たちは公共の施設だからと、自分たちが使った居室とトイレを掃除して帰りました。



チームを支えた

民泊協力会

真心でおもてなし

津川町民泊協力会(京都府チーム)

市民センターの駐車場で行われた歓迎会。当日は、気温も下がり、時々小雨がぱらつくあいにくの天気でしたが、地元の子どもたちの手形で縁取られた歓迎看板が京都府チームを温かく出迎え、地元の食材を使った料理などで心温まるひとときを過ごしていました。試合は初戦で岡山県チームに敗れましたが、試合後、地元の子どもたちは選手たちにサインをもらい、満面の笑みを浮かべていました。



会話が弾んだ歓迎会



いざ応援へ!



サインをもらう子どもたち

川面町民泊協力会(長野県チーム)



アユのお味、どう?



さすがに選手は強い!

市民センター駐車場で行われた歓迎会では、くす玉が割られ選手の皆さんを歓迎。地元「みのり会」による傘踊りや銭太鼓などが披露され、アユの塩焼きや豚汁などが振舞われました。「私たちの孫みたいじゃなあ」と選手たちとの会話が弾んでいました。チームは試合が終わった翌日、地元のスポーツ少年団と交流し、ソフトボールの基礎を指導しました。

ソフトボール競技は15の民泊協力会で、16チームの選手や監督ら294人を受け入れました。各民泊協力会では、さまざまな趣向で歓迎し、応援団を結成して、わがまちのチームとして、スタンドから声援を送りました。
選手たちと地域の皆さんとの間には一体感が生まれ、友情がはぐくまれました。各民泊協力会の真心のおもてなしをお伝えします。

巨瀬町民泊協力会(大阪府チーム)



歓迎会の様子はテレビで放送されました



あこがれの選手にサインをもらう中学生

地元町民が市民センター駐車場に集まり、手づくりの小旗を振って選手の到着を歓迎しました。「大阪府チームが優勝されますよう精一杯お世話させていただきました。」と野口壽彦協力会会長のあいさつの後、選手は、宿舎となるセンターに入りお茶の会による抹茶の接待を受けました。歓迎会では選手のサイン入りボールが当たる抽選会も行われ、大変盛り上がりました。応援は大阪府のチームカラーである揃いの赤い帽子をかぶって盛大に行いました。

中井町民泊協力会(沖縄県チーム)

中井小学校体育館で行われた歓迎会では、沖縄の踊りを習っている平岩恵美さん(中井小6年)が、沖縄の民俗衣装で太鼓をたたきながら選手たちを先導して入場。備中から太鼓が披露され、必勝祈願したお神酒が選手らに振舞われました。お礼にチームからは空手の演舞と「エンヤースアーサー、ハアィヤー」の掛け声で沖縄の踊りが披露されました。「選手たちはまさに元気を与えてくれた」と地域の皆さんは話しています。



ソフトボールをしている山根みゆきさん(中井小6年)からチームの監督に歓迎の花束が手渡された



選手たちにまじって「エンヤースアーサー」



玉川町民泊協力会(広島県チーム)



選手たちに「元気」をプレゼント



選手たちに心を込めて竹細工を作る、石田宏一さん(玉川町玉)



玉川小学校体育館で行われた歓迎会では、地元児童による「渡り拍子」や「ミュージカル〜ぼくらの桃太郎〜」などが披露されました。広島県チームの選手たちは子どもたちのかわいらしさや、上手な演技に拍手を送っていました。協力は記念品として竹細工や干成びょうたん、カエルのマスコット入りお守り袋などを贈りました。広島県チームの投手が、高梁市出身の飯田邦彦選手ということもあって、応援にも力が入っていました。